

灯



北京の大気汚染がひどいと報道されている。なんでも、世界保健機関の危険基準をはるかに超えた数値らしい。北京市民も難儀しているようだ。政府批判を簡単に言える国ではないから、かなりの我慢を

強いられていることだろう。ただ、偏西風に乗ってわが国にも影響が及びそうなので人ごとと云っているわけにもいかない。

大気汚染



草野 義輔

九州は中国に近い位置でもあり気になるところだ。

7年前に修学旅行で北京を訪れた際、生徒は敏感ですぐに空気が悪いと言っていたが、何度も北京を訪れていた私はあまり気にならなかった。このコラムにも「北京秋天」という題で、中国人添乗員もめったにないと

話す青空に恵まれた、と書いたことを記憶している。その後の急速な開発で一気に汚染が進んだのだろう。

三十数年前に初めて中国を訪れた際、武漢大学の学生たちとの交流で学生が「日本は素晴らしい発展をしている。わが国も早く発展して工場の煙突からど

んどん煙が出るようになる」と言っていたことを思い出した。私は「日本は確かに発展しているが同時に公害も発生している。先に発

展した国の良い点は学ぶべきだが、公害などマイナス面も参考にして公害のない発展を中国は目指すべきだ」と答えた。

質問した学生たちは多分いま50代。中国のリーダー的年齢だが、私の言葉を覚えてくれているだろうか？（昭和学校園高校理事長・日田市）